



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月5日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片木 茂行
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 兼俊 寿志 TEL 078 (393) 2524
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,132	△1.0	110	△4.6	67	△14.9	26	△45.9
25年3月期第1四半期	2,153	△8.9	115	△36.7	79	△46.2	49	△39.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.61	—
25年3月期第1四半期	2.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	13,291	3,813	28.7	230.19
25年3月期	13,086	3,823	29.2	230.78

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,813百万円 25年3月期 3,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,150	3.8	170	9.0	70	18.6	30	△33.3	1.81
通期	8,400	7.6	340	34.4	150	63.0	60	△51.2	3.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期 1 Q	16,623,613株	25年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	26年3月期 1 Q	55,680株	25年3月期	55,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期 1 Q	16,568,057株	25年3月期 1 Q	16,569,838株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり
ます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断
する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は
様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想な
どの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国では、雇用や消費等が総じて堅調ながら企業の生産活動においては不安定さが残り、欧州では、ソブリン債務問題が小康状態となったものの更なる景気下振れ懸念が依然根強いことに加え、中国等の新興国経済のスローダウン基調の強まりによる先行きの不透明感もあり、全体としては引続き厳しい状況となりました。

一方、日本経済は、株高・円安の影響やいわゆるアベノミクスへの期待感から緩やかに回復基調にあるものの、米欧経済等の状況も踏まえれば国内外経済全体としては不安感の残る状況でありました。

当社の属するファインケミカル業界は、国内外経済全体の不安定な状態に加え、欧州を中心に自動車産業の業績回復が遅れる中、売上高ベースでは、引き続き厳しい状況となりました。また、利益面については、円安により一定の改善効果があるものの、中国・アジアマーケットを中心にグローバルな販売価格競争は続いており、依然厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社の第1四半期累計期間の業績は、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量は前年同四半期比1割程度増加したものの、写真薬中間体他の販売が減少し、売上高合計では、前年同四半期比21百万円減少し、2,132百万円（前年同四半期比1.0%減）となり引き続き厳しい状況となっております。利益面は、売上高が横ばい推移した一方、販売費及び一般管理費が10百万円増加し、営業利益は110百万円（同4.6%減）、経常利益は、生産休止費用等の計上もあり67百万円（同14.9%減）となりました。四半期純利益については、法人税等40百万円を計上したことにより、26百万円（同45.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、国内外経済が全体として本格回復については不安感が継続する中、欧州を中心として自動車産業の業績回復が遅れており、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量は1割程度の増加にとどまり依然厳しい状況で、紫外線吸収剤の売上は、前年同四半期比93百万円増の1,149百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。製紙用薬剤や酸化防止剤では前年同四半期比、一定の伸びがあったものの電子材料や写真薬中間体等の薬剤が相当程度の減収となり、全体では同8百万円減の1,834百万円（同0.4%減）となりました。

(ホーム産業事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上が前年同四半期比ほぼ横ばいの256百万円（前年同四半期比0.5%増）となる一方、不採算であったD I Y商品から前第3四半期に撤退した影響で、全体では同12百万円減の297百万円（同4.2%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円, %)

セグメント別	期別 区分	前第1四半期累計期間 平成25年3月期		当第1四半期累計期間 平成26年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	1,056,245	49.1	1,149,544	53.9	93,299
	写真薬中間体	131,655	6.1	89,571	4.2	△ 42,084
	製紙用薬剤	75,634	3.5	97,039	4.6	21,405
	酸化防止剤	52,482	2.4	75,002	3.5	22,520
	電子材料	50,486	2.3	35,947	1.7	△ 14,539
	防錆剤	14,717	0.7	10,061	0.5	△ 4,656
	染料料中間体	7,443	0.4	1,016	0.0	△ 6,427
	その他	454,101	21.1	376,333	17.6	△ 77,768
	(小計)	1,842,766	85.6	1,834,513	86.0	△ 8,253
ホーム産業事業	木材保存薬剤	255,353	11.9	256,635	12.0	1,282
	D I Y商品	7,389	0.3	0	0.0	△ 7,389
	その他	47,958	2.2	41,113	2.0	△ 6,845
	(小計)	310,701	14.4	297,748	14.0	△ 12,953
合計		2,153,468	100.0	2,132,261	100.0	△ 21,207

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末（以下「当四半期末」という）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比205百万円増加し、13,291百万円となりました。流動資産は同218百万円増の8,745百万円、固定資産は同12百万円減の4,538百万円、繰延資産は同1百万円減の7百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少216百万円に対して、受取手形及び売掛金が281百万円増加し、たな卸資産も117百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が15百万円減少し、無形固定資産も2百万円減少した一方、投資その他の資産が4百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比215百万円増加し、9,477百万円となりました。流動負債は同521百万円増の7,157百万円、固定負債は同306百万円減の2,319百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加額443百万円の他、賞与引当金と未払法人税等の増加を反映したものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の減少ならびに社債150百万円の償還日が1年以内となり流動負債に振り替わったものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比10百万円減少し3,813百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純利益を26百万円計上しましたが、配当金の支払41百万円があったことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は28.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国での企業生産活動の不安定さや欧州ソブリン債務問題の先行き懸念から米欧経済の見通しが難しく、中国等の新興国経済もスローダウン基調が強まっている一方、日本経済は、緩やかな回復基調は続くと思われるものの、米欧経済等の影響もあり、まだまだ不安感の残る状況が続くものと思われま

す。当第1四半期累計期間の業績は、平成25年5月10日発表の業績予想に対し、おおむね計画通りの推移となっておりますが、国内外経済の動向も見極め平成26年3月期第2四半期累計期間、通期の業績予想について今後見直して参る計画です。

従いまして、平成25年5月10日に公表いたしました数値は変更しておりません。業績予想の修正を決定した場合には速やかに適時開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,323	3,104,013
受取手形及び売掛金	1,898,381	2,180,297
商品及び製品	2,768,453	2,806,000
仕掛品	141,673	79,427
原材料及び貯蔵品	328,935	471,387
その他	81,528	116,106
貸倒引当金	△12,640	△11,798
流動資産合計	8,526,655	8,745,434
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	950,980	935,580
土地	2,832,236	2,832,236
その他(純額)	507,161	507,389
有形固定資産合計	4,290,378	4,275,206
無形固定資産		
投資その他の資産	26,727	24,523
投資有価証券	121,890	128,612
その他	132,437	130,662
貸倒引当金	△19,983	△20,076
投資その他の資産合計	234,344	239,199
固定資産合計	4,551,450	4,538,928
繰延資産	8,281	7,132
資産合計	13,086,386	13,291,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,136,145	1,579,309
短期借入金	3,900,000	3,900,000
1年内償還予定の社債	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	994,912	890,579
未払法人税等	11,039	44,628
賞与引当金	65,047	92,120
その他	529,561	501,305
流動負債合計	6,636,706	7,157,942
固定負債		
社債	250,000	100,000
長期借入金	1,714,786	1,544,442
退職給付引当金	297,081	304,153
環境対策引当金	2,172	—
その他	361,890	371,207
固定負債合計	2,625,929	2,319,802
負債合計	9,262,635	9,477,744

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	605,971	591,158
自己株式	△13,857	△13,930
株主資本合計	3,800,028	3,785,143
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,722	28,608
評価・換算差額等合計	23,722	28,608
純資産合計	3,823,751	3,813,751
負債純資産合計	13,086,386	13,291,496

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,153,468	2,132,261
売上原価	1,755,458	1,728,927
売上総利益	398,009	403,334
販売費及び一般管理費	282,740	293,319
営業利益	115,269	110,014
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2,511	2,462
受取賃貸料	1,110	3,010
その他	4,344	4,402
営業外収益合計	7,968	9,876
営業外費用		
支払利息	25,606	24,859
生産休止費用	11,846	23,731
賃貸収入原価	79	2,002
その他	6,392	1,821
営業外費用合計	43,925	52,415
経常利益	79,311	67,475
特別利益		
保険金収入	49,684	—
特別利益合計	49,684	—
特別損失		
事故対策費	32,402	—
特別損失合計	32,402	—
税引前四半期純利益	96,593	67,475
法人税、住民税及び事業税	47,429	40,866
四半期純利益	49,164	26,608

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。